



白沢(嶺方)峠  
標高 1,100m (長野県)

Photo by Y.Miyaji

## 忘れられない道がある。

言葉がカタチを意味するものである以上、  
そのカタチが失われる時、言葉もまた失われていく。  
かつて峠路が人の行き交う場所であり、  
自転車が旅の方法論のひとつであった頃、  
人が自転車に求めたものは、出会いであり別れであった。  
旅の途中の別れのほろ苦さに人ととの絆の大切さを  
あらためて感じ、そして知るのだ。  
自転車は、そのゆっくりと流れる旅の風景に、  
人の世の喜怒哀楽を垣間見せてくれる。  
自己実現への旅。良き相棒としての自転車。

いつしか時は過ぎ去り、自転車は日常的な道具となり、  
大量消費社会のパートでありまたゴミとなつた。  
功利的な便利さへの飽くなき追求によって生み出される「日常」への埋没。  
自転車が旅するものでなくなった時、人の心の旅もまた失われる。  
Keyをたたくだけで、コトバが世界中を飛び回る今にあって、  
自分のちからだけでペダルをこぎ、  
出会いを求めて行くのは無駄なことなのであろうか？  
長い道のりの果てに知る人の心の温かさこそが、  
価値あるものではないのだろうか。  
そう、信じたい。

ひとつ、またひとつと峠を越えて行く旅に、  
「自転車」という言葉の意味を見い出したい人に贈る。

Passhunting  
650A 390g 33mm

650 Col de La Vie  
コル・デ・ラ・ヴィ シリーズ  
ランドナー650A・B パスハンティング650A